

行事開催報告

第6回防災コンテスト開催報告

平成27年4月から12月までの間、「第6回防災コンテスト」が開催され、全国から自主防災組織・自治会・学校・企業など、170グループが参加しました。多くの地域関係者と連携し、隣接学区と協働した子供やお年寄りの安全な避難、交通安全マップと災害ハザードマップの融合、帰宅困難者や要援護者の支援、被災経験の記録や伝承など、具体的な目的を設定した作品が多く見られました。

平成28年3月19日には、防災科学技術研究所の和達記念ホールで第6回防災コンテスト記念シンポジウム「つたえる・まなぶ・つなぐ地域防災」を開催し、約100名の方に参加いただきました。シンポジウムでは、受賞グループの表彰式、特別優秀賞受賞グループによるプレゼンテーション、全受賞グループによるポスター発表と参加者同士のディスカッションを行うとともに、参加者同士が交流したり今後連絡を取り合ったりするための交流の時間も設けました。シンポジウムの後は、普段見ることができない防災科研施設見学やDr.ナダレンジャーの「舞台裏」公開も実施しました。

本取り組みは、平成28年度から「地域防災



集合写真

実践ネット」と名前を変え、次のステージに進みます。地域防災実践ネットでは、コンテストのような形式ではなく、全国各地で防災活動を実践している地域の人たちが交流し、共に学び合い、地域を超えて協働することで高め合う場としてオンラインで交流ができるサイトを作る予定です。準備ができ次第、防災コンテスト公式サイトにてご案内いたします。

防災コンテスト公式サイト <http://bosai-contest.jp>



Dr.ナダレンジャー

ポスターセッション

行事開催報告

「第20回自治体総合フェア2016 地域社会に活力を与えるイノベーション」

平成28年5月18日から20日に東京ビッグサイトにおいて、第20回自治体総合フェア2016が開催され、防災科研は、展示会へのブース出展と出展者プレゼンテーションセミナー、自治体カンファレンスを行いました。

出展者プレゼンテーションセミナーでは、「災害情報利活用（官民協働危機管理クラウドシステム）の現状と熊本地震の対応報告」と題して伊勢正主幹研究員が講演を行い、自治体向けの

情報システムについてとその活用例として熊本での対応報告を行いました。

また、20日に開催された自治体カンファレンスに林春男理事長が登壇し、「緊急報告 平成28年熊本地震災害の最初の1ヶ月 -防災科学技術研究所の取り組みを中心に-」と題した講演を行いました。

いずれも参加者から多くの関心を集めていました。



林春男理事長の講演



伊勢正主幹研究員の講演



ブースの様子

G7 茨城・つくば科学技術大臣会合特別展

特別展で防災科研の取り組みを国内外に紹介

はじめに

5月15日(日)～17日(火)につくば国際会議場で開催されたG7茨城・つくば科学技術大臣会合に合わせ、「Society 5.0～超スマート社会の実現に向けて～」をテーマに特別展が行われ、研究機関、大学、一般企業など約60の団体が各々の研究成果等を展示しました。防災科研は、災害情報の共有及び利活用の仕組み等をポスター展示するとともに、熊本地震発生後から防災科研が公開している熊本地震の「災害対応支援地図」や「クライシスレスポンスサイト」を実際にモニターに映しながら紹介しました。



島尻大臣(右)に防災科研の取り組みを説明

大臣会合関係者による訪問

特別展は、G7関係各国の大臣、随行者及び会合関係者へ展示公開され、島尻安伊子・科学技術政策担当大臣及びカナダのカースティー・ダンカン科学大臣らが防災科研の展示ブースを訪問され、当研究所の取り組みについて熱心に

耳を傾けられました。

また、橋本昌茨城県知事や市原健一つくば市長も展示ブースにお立ち寄り頂き、災害対応の取り組みについてご紹介させて頂きました。

一般公開

展示は、会合閉幕後の18日(水)～21日(土)まで一般公開され、その4日間で延べ1,736名の来場者がありました。一般公開中も、防災科研のブースに来場頂いた方々には災害対応支援地図を見ながら、熊本地震の震源分布の推移や、土砂移動の状況、水道水の復旧状況、今もなお続く道路通行止め箇所等の災害情報を紹介するとともに、防災科研の災害情報を共有及び利活用する仕組みについて説明しました。

おわりに

期間中、G7関係各国の大臣のみならず様々な分野の方々が展示ブースに足を運んで頂きました。このような注目度が高いイベントで、防災科研の取り組みを国内外に広く紹介できたことは、またとない貴重な機会となりました。



G7各国大臣随行者



カナダ・ダンカン科学大臣

「平成28年(2016年)熊本地震 緊急報告会」を開催

平成28年(2016年)熊本地震により、多大な被害が発生しており、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

防災科学技術研究所では、平成28年4月24日(日)に予定しておりました一般公開を延期し、防災科研和達記念ホールにて、「平成28年(2016年)熊本地震 緊急報告会～防災科学技術研究所1週間の取り組み～」を開催しました。急な実施にも係わらず、緊急報告会には、関係省庁、民間企業、一般の方々など200名以上の方にご参加頂きました。

発災から1週間の各研究部門の取り組みについて、次の6講演を行いました。

- ・地震観測網から見た熊本地震
- ・V-net等の公開火山観測データから見た阿蘇山の火山活動
- ・平成28年熊本地震における土砂災害の状況
- ・リアルタイム地震被害推定システムによる建物被害分布
- ・情報集約・共有による災害対応支援
- ・総合的な生活再建の支援をめざして

講演は、地震観測、阿蘇山の火山活動や土砂災害など多様な自然災害、コンピュータによる建物被害推定、地震発災直後に現地入りした研究員による現地報告、被災地での情報共有に関する状況など、防災科研の取り組みを報告することができました。

また、報告会の後半には、コーディネーターとして東京大学地震研究所地震予知研究センター長 平田直氏、ディスカッサントとして時事通信社解説委員 中川和之氏をお招きし、講演者とのパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッション前に講演者への質問を報告会参加者より頂き、その質問に回答しながら行われました。

質問を一般の皆さまから頂いたことにより、一般目線でのパネルディスカッションにすることができました。

また、平成28年7月15日に「平成28年(2016年)熊本地震 緊急報告会～防災科学技術研究所3か月間の取り組み～」が開催予定です。



開会挨拶 林理事長



講演の様子



パネルディスカッションの様子(パネラー)



パネルディスカッションの様子
(コーディネーター平田氏、ディスカッサント中川氏)

編集・発行



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 企画部広報課

TEL.029-863-7768 FAX.029-851-1622

URL : <http://www.bosai.go.jp> e-mail : k-news@bosai.go.jp

発行日

2016年6月30日発行 ※防災科研ニュースはWebでもご覧いただけます。